

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療的ケア児等医療情報共有サービス推進事業			担当部局庁	社会・援護局 障害保健福祉部			作成責任者		
事業開始年度	平成30年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	障害福祉課障害児・発達障害者支援室			三好 圭		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-					
主要政策・施策	障害者施策			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療技術の進歩等を背景に、医療的ケアを必要とする障害児(以下「医療的ケア児」という。)は増加傾向にある。医療的ケア児は、原疾患や心身の状態が様々であるため、遠方への外出時等に緊急搬送され、かかりつけ医が不在である等の場合に、搬送先の医療機関に医療情報が適切に共有されないおそれがある。このため、平成29年度に医療的ケア児の情報共有システムを構築し、情報の共有が適切になされるかについて、実証事業を行い、平成30年度概算要求においては、平成29年度の実証事業で提案された課題・問題点を踏まえて、システムを改修し、安定した事業主体の検討を行う。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	① 平成31年度以降の医療的ケア児の情報共有を行う体制について検討する。 ② 事業実施の意思決定のための外部委員会の設置を行う。 ③ 医療的ケア児とその家族にヒアリングを行い事業の課題を把握する。 ④ 医療的ケア児の情報共有システムを活用できる医療機関の開拓を行う。									
実施方法	補助									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	9			
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計		0	0	0	0	9			
	執行額									
執行率 (%)		-	-	-	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		-	-	-	-					
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	保健福祉調査委託費		-	9	「新しい日本のための優先課題推進枠」9					
	計		-	9						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	-									
定量的な成果目標 の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由				定性的な成果目標と26~28年度の達成状況・実績					
	本事業は、医療的ケア児等の医療情報の共有を行うため、安定的な事業主体を検討する事業であるため、定量的な成果目標を設定することは難しい。				医療的ケア児等が外出先でも適切な医療を受けられる体制を整備するための安定した事業主体を検討する。					
事業の妥当性を 検証するための 代替的な達成 目標及び 実績	代替目標		代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	医療的ケア児等の医療情報を共有できるよう、体制を整備する事業主体を検討する。		検討会開催回数	実績	-	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	-	-

活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込			
		活動実績	当初見込み									
検討会開催回数		活動実績		回数	-	-	-	-				
		当初見込み		回数	-	-	-	-	5			
単位当たり コスト		算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込				
		単位当たりコスト=X/Y X:「執行額」 Y:「検討会開催回数」						単位当たり コスト	円	-	-	-
				計算式	X/Y	-	-	-	-			
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	必要な保健福祉サービスが的確に提供される体制を整備し、障害者の地域における生活を支援すること									
		施策	施策目標Ⅹ-1-1 障害者の地域における生活を総合的に支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること									
		測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標年度	
									-	-	-	-
					実績値	-	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-	-		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	医療的ケア児が、外出先でも適切な医療を受けられる体制を整備することにより、医療的ケア児とその家族の福祉の向上を図ることができると見込まれている。											
	アクション・プログラム	改革項目	分野:	-								
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標		目標最終年度	
			-	-		-			-	-		
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標		目標最終年度		
					-			-	-	-	-	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、医療的ケア児等が外出先でも適切な医療を受けられるようにするための、安定した事業主体を検討する事業であり、国民や社会のニーズを的確に反映している。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、医療的ケア児等の医療情報共有システムを構築するための、安定した事業主体を検討するものであるため、国で実施すべき事業である。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、医療的ケア児等が救急時や、予想外の災害、事故に遭遇した際にも、迅速に必要な情報共有を行い、適切な医療を受けられるようにするための事業主体を検討するため、優先度の高い事業である。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無				
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-				
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-				
	所管府省名	事業番号	事業名			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	-				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	-					

